

「音楽の友」にて、

佐藤泰弘先生(本学特任教授)と本学の学生、卒業生および東邦第二高等学校生徒も出演したオペラ彩設立40年記念公演 歌劇「魔笛」の記事が掲載されました。



1/20 オペラ彩 設立40年記念公演 モーツァルト「歌劇《魔笛》」

1984年に埼玉県朝霞市在住・在勤の音楽家7名によって設立された「朝霞オペラ振興会」は現在「オペラ彩」(和田タカ子理事長)の名称で意欲的なオペラ上演を続けている。今回、40周年記念公演として《魔笛》が上演された。演出は直井研二。歌唱は原語。地の台詞部分は日本語。字幕付きである。歌手はダブルキャスト。この初日は、ザラストロに佐藤泰弘、タミーノに大澤一彰、夜の女王に奥村さゆり、パミーナに斉藤真歩、パパゲーノに原田勇雅、パパゲーナに梅津碧、モノスタスに石塚幹信。台本は少々刈り込まれ、説明もさりげなく補足されていたため、善悪の逆転に矛盾を感じさせることもなく、修行場面が冗長に陥ることもなかった。装置や衣裳もまっとうで、国や時代を超越しつつ、誰しものがこれぞ《魔笛》として共感できるものだった。歌手陣は総じて第2幕のほうが声の伸びがよかったが、佐藤、原田は第1幕から安定していた。若手では斉藤真歩がキャラクターづくりに優れ、声質もパミーナにふさわしかった。今後を期待したい。天沼のオーケストラ・ドライブはきめが細かく、音楽でドラマをけん引し、歌手陣をよく歌わせた。永峰高志がコンサートマスターも務めるオーケストラも健闘。ダンサーの起用も効果的。 ●萩谷由喜子 会場=和光市民文化センター 大ホール・サンアゼリア/出演=天沼裕子(指揮)、佐藤泰弘(ザラストロ)、大澤一彰(タミーノ)、奥村さゆり(夜の女王)、斉藤真歩(パミーナ)、東京創作舞踊団、他/演出=直井研二

